

健康長寿に係る先進的な取組事例

和光市

～女性特有のがん検診と協会けんぽ特定健診の同時実施～

(1) 取組の概要

全国健康保険協会（以下、協会けんぽ）埼玉支部と埼玉県は平成26年11月、健康づくりの分野における取組を相互に連携・協力して進めるため、「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」を締結した。この協定に基づき、和光市では平成27年度から市と協会けんぽにおける特定健診を同時に実施した。埼玉県内の市町村では、県内初の取組であり、県内の市町村において同事業を実施しているものはない。具体的には、和光市と協会けんぽは、市で実施している女性特有のがん検診（集団）において、平成27年度から協会けんぽの被扶養者に対して特定健診（集団）を同時に実施するものである。協会けんぽ加入の被扶養者の和光市民にとっては、特定健診とがん検診を同時に短時間で受診できるいい機会となり、かつ、市としてもがん検診の受診率向上に寄与していると思われる。

また、平成28年度には、女性特有のがん検診の申込方法を従来の電話だけでなく、市民要望の高かったウェブを利用した予約を開始したことにより、市民の利便性の向上に寄与した。

(2) 取組の契機

(ア) 協会けんぽの特定健診受診率が低い

協会けんぽ埼玉支部の被扶養者の特定健診受診率が低いことが課題としてあがっていた。協会けんぽの健診受診機会を増やすために、市が行う集団がん検診において、協会けんぽの特定健診を同一会場（和光市保健センター）で受診することで、利便性の高い集団検診とすることを目指した。

(イ) 女性特有のがん検診の受診者は若い世代が多い

女性特有のがん検診の受診者の平均年齢は46歳から50歳代と比較的若い女性であり、がん検診と同時に受診できて特定健診の受診機会を増やすには、市の女性特有の集団がん検診は絶好の機会であった。

(ウ) 女性特有のがん検診の健診申込方法について、電話がつながりにくいという多数の意見から、ウェブ予約の実施を求める意見があがってきた

従来の検診申込方法は、電話のみであったが、申込開始日は電話が集中するため、電話がつながりにくいとの意見が多数あった。平成27年度の集団健診受診者に、希望する健診申込方法についてのアンケートを取ったところ、「電話予約」が36%、「ウェブ予約」が38%、「はがきなどの郵送」が15%、「どれでもよい」が11%であることが分かった。子の結果を受け、平成28年度の1月実施分から女性特有のがん検診の申込方法を、電話とウェブの2通りとした。

(エ) 取組の内容

事業名	和光市女性特有のがん検診（集団）	
事業開始	和光市女性特有のがん検診は平成21年度 協会けんぽ対象の特定健診合同実施は平成27年度	
	平成28年度	平成27年度
予算	12,586千円 ・電話予約等業務 562千円 ・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診委託料（無料クーポン無）、骨粗しょう症検診委託料4,994千円 ・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診委託料（無料クーポン有）5,097千円 ・消耗品（リーフレット等）72千円 ・印刷製本費 283千円 ・子宮・乳・大腸がん検診無料クーポン券発送業務委託料 1,578千円 ・通信運搬費 570千円	16,580千円 ・電話予約等業務 562千円 ・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診委託料（無料クーポン無）骨粗しょう症検診委託料6,121千円 ・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診委託料（無料クーポン有）5,444千円 ・消耗品（リーフレット等）82千円 ・印刷製本費 345千円 ・子宮・乳・大腸がん検診無料クーポン券発送業務委託料 2,936千円 ・通信運搬費 1,090千円
受診者数	女性特有のがん検診1,082人 （1月分はこれから実施のため、予約数を計上） 1,082人のうち協会けんぽ特定健診受診者は185人（受診者に占める割合17.1%）	女性特有のがん検診1,015人 1,015人のうち協会けんぽ特定健診受診者は175人（受診者に占める割合17.2%）
実施期間	平成28年7月23日（土）、25日（月） 平成29年1月28日（土）、30日（月）	平成27年7月20日（月祝）、22日（水） 平成28年1月22日（金）、23日（土）
実施体制	業務委託（実施場所は和光市保健センター）	
周知方法	【市・がん検診】広報、ホームページ、健康ガイド（成人版）全戸配布、がん検診無料クーポン券対象者への個別通知（6月）、クーポン未利用者への再勧奨通知（12月）、市内国立病院と共催の市民公開講座の講演内容の中での紹介 【協会けんぽ特定健診】特定健診対象者に対して個別通知	【市・がん検診】広報、ホームページ、健康ガイド（成人版）全戸配布、がん検診無料クーポン券対象者への個別通知（6月）、クーポン未利用者への再勧奨通知（12月）市内国立病院と共催の市民公開講座の講演内容の中での紹介 【協会けんぽ特定健診】特定健診対象者に対して個別通知

【協会けんぽと和光市女性特有のがん検診の合同実施に至るまでの経過】

- ① 埼玉県職員（保健医療政策課新都心医療拠点・医療プロジェクト推進担当）と協会けんぽ埼玉支部の職員と和光市の集団健診担当者との協議（平成26年10月）

市の実施している集団健診の現状把握と協会けんぽ加入の被扶養者に対する特定健診と市の集団がん検診での合同実施について、協会けんぽから打診があり、意見交換を行う。
- ② 市の実施している女性特有のがん検診（年2回×2日間）と協会けんぽの被扶養者に対する特定健診を平成27年度から合同で実施するための協議（平成26年12月）

合同実施にむけて問題点と実施方法についての課題整理を行い、契約方法等の検討。健診実施向けての諸課題はあるものの、平成27年度から合同実施していく方向での意見の一致。
- ③ 事業実施に向けての契約及び協定書について協議（平成27年2月）

契約形態及び健診実施に伴う費用分担や実施方法等について協議。協会けんぽの特定健診受診率を伸ばしたいという目的と市のがん検診の受診率を伸ばしたいと目的を考慮し、協会けんぽの特定健診のみで受診することは不可とし、受診要件に子宮頸がん検診または乳がん検診を予約する場合に特定健診の予約ができるとした。
- ④ 健診の合同実施に向けての周知方法や申込方法、定員、契約、協定書についての最終確認と合意（平成27年5月）
- ⑤ 朝霞地区医師会事務局への事業説明（平成27年6月4日）

和光市の実施している集団がん検診と協会けんぽの被扶養者に対する特定健診を平成27年7月と平成28年1月に合同実施することについて朝霞地区医師会事務局長へ説明し理解を得る。医師会の理事会で説明していただくよう依頼する。
また、協会けんぽの朝霞地区における保健事業の推進について他の事業についても説明。
- ⑥ 平成27年度和光市女性特有のがん検診（集団）での全国健康保険協会埼玉支部の特定健診合同健診について協定を締結する（平成27年6月15日）

協定期間は平成27年6月15日から平成28年3月31日
※平成28年度については、新たに協定書を作成し、年度末までの協定を締結した。
和光市の子宮がん検診または乳がん検診を受診する場合に、協会けんぽの特定健診を受診可能とした。
- ⑦ 協会けんぽより、和光市在住の被扶養者に対して、市の女性特有の集団がん検診と特定健診の合同実施について個別通知を送付（平成27年6月22日）

和光市在住の協会けんぽ加入の被扶養者対象者1,000人に送付し、7月の女性特有の集団がん検診受診者数は134人。

⑧ 健診（検診）の実施（平成27年7月20日（月祝）、7月22日（水））

※平成28年度については、平成27年度の反省点を踏まえて実施した。

【主な改善点】

平成29年1月の検診の申込方法を、従来の電話だけでなく、健診委託会社によるウェブ予約を取り入れた。予約枠は、各日、電話枠とウェブ枠を半数ずつとし、キャンセル待ちの人数も、午前と午後で、電話枠とウェブ枠の内訳も半数ずつとした。

(オ) 取組の効果

① 協会けんぽ加入者の被扶養者の特定健診受診の効果

実施日	和光市在住の協会けんぽ加入の40～74歳の被扶養者特定健診対象者数	特定健診申込人数	特定健診受診人数	特定健診受診合計人数	和光市在住の特定健診受診率
H27. 7. 20 (月祝)	1,350人	80	55	134	12.96%
H27. 7. 22 (水)		85	79		
H28. 1. 22 (金)		33	33	41	
H28. 1. 23 (土)		10	8		
H28. 7. 23 (土)	1,400人	36	36	110	13.21%
H28. 7. 25 (月)		74	74		
H29. 1. 28 (土)		41	41	75	
H29. 1. 30 (月)		34	34		

平成26年度協会けんぽ埼玉支部のみの特定健診受診率 15.9%
 平成27年度協会けんぽ埼玉支部のみの特定健診受診率 19.0%
 平成28年度協会けんぽ埼玉支部のみの特定健診受診率 20.0%（見込み）

協会けんぽ埼玉支部のみの特定健診受診率の年次推移は上昇している。

また、和光市在住の協会けんぽ加入の特定健診受診率も平成27年度から平成28年度にかけて、0.1%上昇している。

市の集団がん検診と協会けんぽ特定健診の合同健診の効果はあったと思われる。

② がん検診受診率の効果（平成25年度～平成27年度）

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
子宮頸がん検診受診率	17.3%	18.6%	17.5%
乳がん検診受診率	24.5%	24.3%	24.0%
大腸がん検診受診率	13.5%	12.7%	13.1%
胃がん検診受診率	6.9%	6.6%	7.4%
肺がん検診受診率	11.9%	11.9%	12.1%
がん検診平均受診率	14.8%	14.8%	14.8%

受診者数は、各年度の地域保健・健康増進報告より引用計算

(子宮頸がん検診は20～69歳、乳、大腸、胃、肺がん検診は40～69歳の受診者数)

対象者数は、平成25年度の方は平成26年1月1日の人口

平成26年度の方は平成27年1月1日の人口

平成27年度の方は平成28年1月1日の人口

各年度のがん検診受診率の年次推移をみると、子宮頸がん検診は若干低下しているが、乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん検診の受診率はわずかながら増加している傾向にある。

(カ) 成功の要因、創意工夫した点

① 申込者の多い検診における協会けんぽとの連携

市で実施している集団健診は3種類ある。一つ目は「女性特有のがん検診」、二つ目は「集団健診」、三つ目が「国保集団健診」である。

今回、協会けんぽとの連携した「女性特有のがん検診(集団)」では、実施している検診の種類は、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診、骨粗しょう症検診である。この検診時に、協会けんぽの被扶養者に対する特定健診を合同実施したものである。会場は保健センターのみであり、7月と1月に各月2日間ずつ、合計4日間実施している。

今回の事業の実施により、市民全体としての特定健診受診率の向上、がん検診の受診率の向上につなげることができた。

② 対象者に健(検)診の案内通知を個別送付したこと

広報やホームページだけでなく、対象者に健(検)診の案内通知を個別送付した。

③ 健診の申込方法に電話だけでなくウェブを取り入れたこと

平成27年度に検診の申込方法についてアンケートをとったところ、電話とウェブの需要が約半々であった。電話だけで申込が集中していたところ、ウェブを取り入れたことで、予約の分散につながり、市民の利便性が上がった。

(キ) 課題、今後の取組

① 協会けんぽの被扶養者の特定健診受診者が少ない

今後は、協会けんぽの特定健診受診要件を緩和する方向で検討する。具体的には、子宮頸がん検診または乳がん検診を受診しなくても、協会けんぽの特定健診だけでも受診可能としたい。(協会けんぽの特定健診だけの予約枠を設け、市のがん検診の予約枠を占有しないようにする)

② 集団健診の申込方法が電話のみであり、電話が集中してしまうため、順次拡大したい

今後は、集団健診でも、ウェブ予約を導入し、市民の利便性の向上に努めたい。